

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 7 年 4 月 28 日				
事業所名		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	7			適切なスペースで活動に合わせて、室内外での活動を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			適切に配置の中で業務分担ができて業務改善に繋がっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		視覚情報(55T)取り入れて支援に繋がっています。	日頃から、施設の昇降の際は安全面で必ず手摺りを出るよう声をかけを行い対応しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			安全衛生面、環境整備に努めています。また、活動に合わせて室内外での活動を支えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			必要に応じて、個別の部屋を使用できる環境を整えております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	7			業務開始前、終了時にミーティングを行っています。定期的に職員会議を設けています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			保護者向け評価表より、保護者等の意向を把握する機会を設け、その内容を業務改善に繋げております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			定期的に職員会議を設けております。また、その内容を業務改善に繋げています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			第三者による外部評価を行い、評価を業務改善に繋げています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			定期的に研修の機会を設けています。また、法人内での研修を開催する機会があります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			適切に配置の中で業務分担ができて業務改善に繋がっています。支援プログラムを作成し公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			業務開始前、終了時にミーティングを行っています。定期的に支援会議を設けています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			日頃より、保護者様及び関係機関などから情報を収集し計画を作成しています。
	14	児童発達支援計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			児童発達支援計画が職員間にも共有され、計画に沿って支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			研修での講師より助言や、専門誌など情報を収集し計画を作成しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容が踏まえたが、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			各自自立を主とし、個々のペースに合わせて丁寧に療育に取り組んでいます。「地域支援」近隣の商店や、公園活動など積極的に取り組んでいます。保護者様からの悩みなど、電話や事業での相談を行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			チームでプログラムの立案を行っております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			専門講師によるプログラムや、固定されないように職員が柔軟で活動プログラムを立案しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			小集団活動を中心とし、個別での課題に丁寧に取り組みます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			支援開始前には、職員で必ず打ち合わせをし、支援内容の役割分担をこなっています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			支援終了後には、必ず職員間でその日行った支援内容の振り返りを行い気づきや改善などを共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			日々の支援に関して記録を徹底し記録の内容も次の支援に繋がれるよう行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			定期定年モニタリングを行い、支援計画の見直しを行いスモールステップで調整に取り組んでいます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7			職員の意見をもとめて、相談支援事業所のサービス担当者会議に参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		保育園やこども園への移行を見据えて交流する機会があります。	今後地域の保健、医療（主治医や協力医療機関など）、機会があれば連携していきたいと思えます。
	26	移行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			移行に向けた支援、インクルージョン推進の観点から、保育所やこども園、特別支援学校との情報共有を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			就学時の意向の順には、小学校や特別支援学校との間で支援内容などの情報共有を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			利用者様の了承を得て、療育センターの印刷の様子など見学を通して、連携を図り助言を受ける体制を整えていく。	今後機会があれば、地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズの助言など受ける機会を設けていきたい。
	32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			保育園やこども園との交流の機会を設けております。
	33	保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7			日頃から、利用者様の状況など、通所時やグループ交流等でお話ししています。定期的にモニタリングで課題のすり合わせがにこ循環を行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			対応の向上を図る観点から保護者様に対して成功事例や、経験豊富な職員より助言など行っています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用費負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			サービス利用する前に丁寧に説明させていき、不明な点に際してもその都度お電話で対応するように行っています。
	37	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			保護者様からのアセスメントを元に発達段階に合わせて、支援計画を作成し、ご家族の意向を確認する機会を設けています。
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の理解を得ているか。	7			保護者様からのアセスメントを元に発達段階に合わせて、支援計画を作成し、支援内容の説明を行っています。
	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			定期的なモニタリングや、保護者様からの悩み事等、電話や事業所に来ていただいて一緒に悩むなどの対応を考えております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			昨年は、親子学を開催しました。今回はゆんたけ会を予定してあります。また、父兄会の活動を支えるなど保護者間での繋がりを大切にしていきたいとおもいます。
	41	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			迅速時や、グループLINE等で相談がある場合は電話や、面談にてお話しと関係機関について助言や、取り組みについて対応させて頂いております。
	42	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			ホームページや発信をしています。また、利用予定を通して活動や行事予定の情報を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			全職員個人情報取扱いに周知しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		活動のルールを文や絵を提案し視覚支援を行っています。	その子の特性を理解して接するよう努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招請する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	7		定期的に地域の方と事業所周辺の環境整備を行っています。機会があれば行事に招待していきたいとおもいます。	今後、機会があれば事業所の行事に地域住民を招請する等、地域に開かれた事業運営を図っています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。				マニュアルを職員間で周知しております。発生を想定した訓練を実施しています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。				火災訓練などに取り組んでいます。今後も継続して取り組んでいます。
非常時等の対応	48	事前に、地震や予防保護、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		機能的に確認できる場所に掲示しています。	利用開始前に保護者様へ確認しこまめに情報共有を図っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	7		機能的に確認できる場所に掲示しています。	食物アレルギー対象の児童には保護者様へ確認しこまめに情報共有を図っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			定期的な訓練を実施しており、今後も継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、事業所との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			こどもの安全を確保に関して、定期的な訓練を実施しております。予定表やライン等で周知しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について職員間で共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的な研修で支援のあり方を共有できています。	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			やむを得ず身体拘束について、組織的に決定し、保護者様へ事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しています。